
ただ微笑んで

緑僧

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ただ微笑んで

【Nコード】

N1467D

【作者名】

緑僧

【あらすじ】

母親の趣味のスクラップを見ていて思いつきました。

あなたがこの世を去った日

私が23歳だったあの日

私は光を亡くしました

あなたという光を亡くしました

電話がなります

私はとります

その時私が電話をとらなければ

悲しみに襲われることはなかったのでしょうか

私は車で向かいます

あなたの元へと向かいます

吐き気を覚えつつ車をとばします

23といういい歳ながら

私は人の死というものに立ち合ったことがありますでした

私は車をとばします

最愛の人の元へと向かいます

白い白い白い部屋なにもかもが薄暗く、白い白い白い部屋あなたはそこで横たわる

ドラマで観たような

白い布を顔にのせて

私は泣くのでしょいか鳴くのでしょいか突然消えた者に涙を浮かべるのでしょいかただかけているものが認識出来ずに私はそこに立ちます

私が彼が居ないと感じたのは

お葬式の終わった後でした

しかし居ないと感じてても

泣けないのはどうしてでしょうか

鳴けないのはどうしてでしょうか

嘆けないのはどうしてでしょうか

[illegible]

ドウシテ

ワタシハ

ナケナイノデシヨウカ

狂った頭で考えました

答えは当然でませんでした

あなたが居なくなった日から20日

私泣いてません

綺麗だねといわれた腕に

無数の線がいります

それが私の支え

今の私の支え

心がキシリと音をたてました

むかしむかし

あるところに男と女がいました

25歳で結婚予定で

子供はたくさんつくろうね

大きな家をたてようね

たくさんさんの夢がつまっていました

男はシニマシタ

女はクルイマシタ

ああああああああああああああああああああああ

わたしは病院にいました

あなたはシニマシタ

わたしは病院にいました
あなたのもとへとも飛べずに
わたしは病院にいました

あなたが居なくなって1年が経った頃
わたしははじめて鳴きました
声をあげて泣きました
嘆きました

あなたが居なくなった日から多大な時が過ぎました
あなたが照れて奪ってくれなかった私の純血は今もそのままに
只悲しみも古ぼけて逝きます
私が死んだら星になるのでしょうか
神の妻になるのでしょうか

どちらでも私は死を選びます
あなたの隣で只隣で寄り添っていたい
あなたの微笑みのしたで眠りたい
あなたは23歳私はもうお婆さん
こんな姿を見たらあなたは軽蔑するのでしょうか
笑うのでしょうか
只そつと傍においでと一言
それだけで私は
私は

私の命が終わります

私の時が終わります

私は

私の時を生きました

こんな私を

只あなたの傍において下さいね

(後書き)

久しぶりの更新です。やっとテスト終わりました

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1467d/>

ただ微笑んで

2011年2月3日14時30分発行